

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

965

地域介護予防活動支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	2	高齢者の生活の充実
取組方針	2	高齢者が心身ともに健康な生活を送ることができるまちづくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	介護保険事業特別会計		
	款	地域支援事業費		
	項	一般介護予防事業費		
	目	一般介護予防事業費		
	大事業	一般介護予防事業		
中事業	地域介護予防活動支援事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	平成18年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	地域包括支援課	山路正晴
事業実施の根拠法令	介護保険法第115条の4第1項第2号		関連課			435-1197

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	住民運営の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。また、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指す。		住民運営の通いの場を充実させ、人と人のつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。また、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指す。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	①市民ボランティア養成講座の実施 ②つれもてサポート事業の実施 ③自主活動移行教室の実施	①市民ボランティア養成講座の実施 ②つれもてサポート事業の実施 ③自主活動移行教室の実施	自主活動移行教室及び自主活動支援事業で自主グループを育成し、活動を支援することで介護予防を図る。つれもてサポート事業で相互に支え合う社会づくりを推進する。	自主活動移行教室及び自主活動支援事業で自主グループを育成し、活動を支援することで介護予防を図る。つれもてサポート事業で相互に支え合う社会づくりを推進する。	自主活動移行教室及び自主活動支援事業で自主グループを育成し、活動を支援することで介護予防を図る。つれもてサポート事業で相互に支え合う社会づくりを推進する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	58,118	32,059	37,749	18,188	16,138	7,292	8,650	0	8,650	0
伸び率(%)	0%	0%	△35%	△43.3%	△57.2%	△59.9%	△46.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	9,970	9,891	9,031	7,433	8,779	8,779	9,504	0	9,504
	正規職員以外	318	318	333	570	0	0	0	0	0
	小計	10,288	10,209	9,364	8,003	8,779	8,779	9,504	0	9,504
国庫支出金	14,529	8,014	10,066	4,851	4,324	1,950	2,313	0	2,313	0
県支出金	7,264	4,007	4,718	2,274	2,017	911	1,081	0	1,081	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	29,059	16,029	18,247	8,790	7,780	3,518	4,175	0	4,175	0
一般財源(税等)	7,266	4,009	4,718	2,273	2,017	913	1,081	0	1,081	0
所要人数(人)	正規職員	1.25	1.24	1.13	0.93	1.09	1.09	1.18	0.00	1.18
	正規職員以外	0.14	0.14	0.14	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	自主活動移行教室事業委託料 9,923千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	つれもてサポート事業の交付金交付金額	円	目標値					
			実績値	46000	50000	68000		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	つれもてサポート事業のボランティア登録人数	人	目標値	80	90	100	110	
			実績値	82	94	99		
			達成度(%)	103%	104%	99%	%	%
成果指標	市民ボランティア養成講座の修了者数	人	目標値	100	100	100		
			実績値	100	72	0		
			達成度(%)	100%	72%	0%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	高齢化の進展により、介護予防の重要性は広く認識されていることから、事業内容は現状維持とした。 また、国からは、従来の介護予防事業から住民主体での通いの場を増やすこと等が示されており、コストの投入は、縮小とした。
見直し・改善内容	これまでの実績を基に内容や質を低下させることなく事業を実施する予定である。